

平成23年度 活動報告書

[] 協議会内活動

1. 第14回代表者会議

定時代表者会議は隔年開催の慣例により、会則第12条第4項の定めに従い平成23年5月25日に文書によって議案(第1号および第2号)を提案し、原案通り承認された。

2. 世話人会の開催

東京都障害者福祉会館に於いて平成23年4月～24年3月の間、隔月(奇数月)第4水曜日の開催を原則として定例的に6回の会議を開催した。会議では協議会の円滑な運営について協議を行った。

3. 会報の発行

平成23年度は東日本大震災の影響のため3月発行が遅れたので4回の発行となった(第37号・4月、第38号・7月、第39号・11月、第40号・3月)。

グループ紹介、協議会の活動状況報告、世話会の開催状況などを協議会会員向けの広報が出来た。

4. ホームページのリニューアルと充実

ホームページの内容を再検討し、内容と構成を一新し、協議会の実情や活動の状況および製作実績を情報発信し、会員相互および拡大教科書利用の関係者にもボランティア活動の姿が見えるような工夫が加えられた。

5. 地域活動の促進

23年度は活動の促進、技術向上や地域組織の促進に著しい活動はできなかった。一部に県単位の活動ブロックが形成される活動があったこと、新たに活動を始めるグループへの助言等の支援ができたことは前進と評価出来る。

6. 拡大写本のつどいの開催

23年度は開催が無く、24年度神奈川大会に向けて 実行委員会との準備打ち合わせが実行出来た。

[] 対外活動

1. 協議会活動の広報

ホームページのリニューアルが出来たことにより内容の充実が推進され、拡大教材を製作しているボランティア活動の意義および実績の状況について教材利用者および関係者に広く伝達されるようになった。

2. デジタルデータ提供の充実

文部科学省の委託研究プロジェクト「教科書デジタルデータ提供のための管理運営

等に関する調査研究」の研究会に参加し、ボランティアの活動に必要なデータ提供の在り方について要望や提案をすることが出来た。

3．拡大教科書の適切な供給システムの研究

本年度はほとんど前進が計れなかったが、今後とも引き続き研究を進める必要がある。(例えば ホームページに ボランティアの製作している特徴的な拡大教科書のサンプルを掲載し、ボランティアが製作する拡大教材の実績をアピールする等)

以 上